

ビフォーアフター

お風呂



台所



洗面所



お客様の感想文 『終の棲家は、快適に』 竹内 宏

築36年。冬は窓の隙間と壁と壁の隙間から吹き込み寒冷に、そして、夏はダニで全身のかゆさに悩まされてきました。しかも、玄関からダイニングキッチンに床の一部割れて危険なため、ビニールテープを貼っている状態でした。和室の土壁は、汚く変色し、ところどころはがれ、ダイニングキッチンのクロスは油で汚れている状態でした。

終の棲家は快適に過ごしたいという想いと、今まで動いてきた自分たちのご褒美にと、リフォームを決心しました。

「そうだ！人見建設に頼もう」と思ったのは、毎号送られてくる「人見通信」を読んでいて、監督さんや職人さんの仕事誠実さと丁寧さと信頼を感じられたからです。

6つの資格を持つベテランの山口監督さんに来ていただき、担当していただくことになりました。高い技術力や心遣い、職人さんたちの連携で、お願いしたこと以上の仕事をしていたいただいたことは、皆様が毎号書かれているとおりです。

リフォームを終えて、紙に印刷されて作られていた天井が杉の突板に、玄関の廊下は合成化粧板が檜の無垢板に、隙間風が吹き込んだ窓は落ち着いた色合いの二重窓に、ほろほろの壁は断熱材の入ったシステム壁になりました。山口監督さんの提案と職人さんの技術で、終の棲家にふさわしい本物の和の建築となり、毎日快適に暮らしています。

お客様の感想文 『お世話になりっぱなしです。』 A.K

石原さんとは、今回のお家のことでお知り合いになったのではありません。もう少し前からです。

私たち夫婦が家を買うときは石原さんにお世話になれば、親切にしてくれそうだなと思っていました。「頼むね 石原さん」とお話ししたこともあったと思います。それから、何年かが経ちこのたび石原さんの尽力により、私たち夫婦は家を持つことができました。ありがとうございました。

物件が見たいといえば、先に下見してくれて良さそうだと案内してくれましたね。うちの事情で、いろいろ、話が変わりあちこち、案内していただきました。

ご迷惑をおかけしましたが「よくあることです。」と何回も真摯に向き合ってくださいました。最後の契約の時も私たちの思っていることを相手の方にちゃんと伝えてくれましたね。相手の方は何度も「売買の慣例」を連発されてきましたが、私たちは、初めてのことで、慣例と言はれても……と思っていたところもつこんでくれていました。「たのしい」と思っていました。それを伝えると、「仕事ですから」と笑ってくれました。ありがとうございました。

今わが家はリフォーム中です。リフォームは「うちのナンバーワンの監督紹介します」と紹介していただいた、おじさんは少しこわそうな（小谷さんごめんなさい）方でしたが、とても優しく、親切でこの方もほんとうに真摯に取り組んでくださっています。私たちがご縁があってお会いしたお二人はまた私たちの知り合いがお家のことを考えるような時は必ず紹介したいような方です。たぶん、人見さんの方は皆さん、良いかたなのだと思います。（私たちはお二人しか存じませんが）

まだまだ、お世話になることがあると思います。今後ともよろしく願いいたします。



17回目の無料包丁研ぎ

2015年5月24日(日)今年も恒例の行事で、寺町夷川西北角の人見建設(株)本社1階において、下御霊神社遷幸祭の日に、これまで地域の方々に支えられ、建設工事業を続けられたことへの感謝の気持ちを、包丁の切れ味で満足していただけますよう、無料包丁研ぎを行いました。

1999年より始め今年で17回を迎え、回を重ねるにつれて地域での認知度も確実に高まってきています。お1人様1本での包丁研ぎを始めた頃は77本でしたが年々増え、今年は天候にも恵まれ過去最高の260本となりました。

この本数は毎年行って来た事の積み重ねの結果だと思いき、これからも地域の皆様の期待にこたえられるように続けていきたいです。

朝9時より研ぎ場所や受付場所の設営を開始し、9時30分頃より前日からお得意様よりお預かりしている包丁を研ぎ始め、10時の受付が始まると地域の方々が続々と包丁を持ってこられます。

午後1時頃にはピークに達し、包丁が研ぎ上がる本数を70本ほど上回り、返却時間に間に合わせるよう研ぎ手は指紋をすり減らして頑張りました。

大変な数の包丁ですが、職人(元職人も含め)が心を込めて研ぎ上げた包丁は、さらに会長の40倍のルーベで刃こぼれや切れ味を検査され、丁寧に包装され午後5時にはお返しすることができ、今年も無事に全社一丸となり研ぎ上げた達成感に満足いたしました。

山口泰弘(元大工職人)

回数	西暦	包丁研ぎ数
第1回	1999年	149本 97人来店
第2回	2000年	77本 前1年比1本へ減少
第3回	2001年	91本
第4回	2002年	83本
第5回	2003年	121本
第6回	2004年	129本
第7回	2005年	110本
第8回	2006年	133本
第9回	2007年	151本
第10回	2008年	168本
第11回	2009年	182本
第12回	2010年	111本 天候により減少
第13回	2011年	143本 天候により減少
第14回	2012年	202本
第15回	2013年	201本
第16回	2014年	239本
第17回	2015年	260本

